様式２
（2018年度）

事業実績報告書

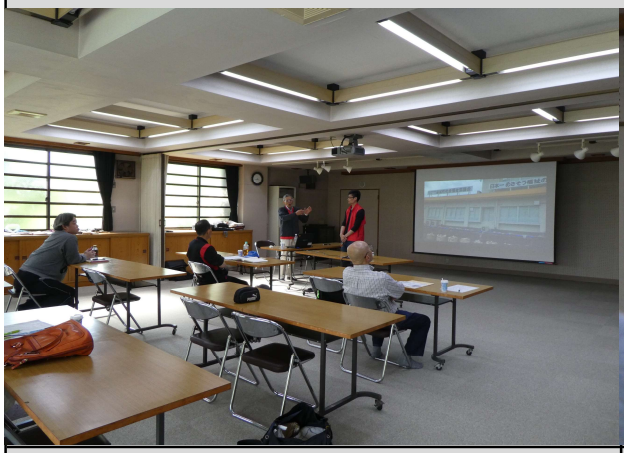
※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-18	講座名	ちくさ防災・減災講座
記載日	2018.9.19	団体名・企業名	災害ボランティアちくさネットワーク

〈講座全体の概要〉(300字程度)

災害ボランンティアちくさネットワークは名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座を修了した者を中心に構成されております。しかし、職業は様々で公務員から、学生、一級建築士まで様々です。しかし、その想いはわが街の安全な暮らしです。それぞれの職業や災害支援経験をいかして、名古屋の街の安全に資する人材に自らがなるための研鑽の場とすることと、そこで暮らす市民一人一人とのリスクコミュニケーションの場となるような講座を用意しました。そして、それを継続していくことが減災の一歩だと考えております。

＜写真添付スペース（1～2点）＞



※写真1の説明	※写真2の説明
2018.5.12 乗西寺　九州水害の現場一帯をバイクを使って調査してきた報告をする井上さん（災害ボランティアちくさのメンバー）	2018.5.12 乗西寺　被害状況を聴きながら、支援の必要な現場の状況を問う、参加者やベテランボランティア。

〈 企画・運営者の声（感想）〉(350字程度)

講師がただ知識や経験を一方的に伝えるだけでなく、参加者全員が真剣にディスカッションを行ってくれたことがこの講座の一番の収穫であると思っております。
防災・減災についての価値観は、個人個人の目的に応じて多種多様に分かれる傾向があり、そのことについて講座を企画した側が気づかされる場面も決して少なくありませんでした。
防災・減災についてよくわからないからこそ発信された意見についても、防災意識の底上げを図る上で非常に参考になり、視野の広さが必要不可欠であることを改めて気づかされました。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより) 〉(3～5点、計350字程度)

・長周期地震動の階級分類の話がよかった
・分かりやすい講座内容でよかった
・建築防災がおもしろかった
・名古屋の地形／地質の説明があり、とてもわかりやすかった
・現役の建築技術者の安全意識がよくわかって頼もしく感じた
・建築の専門家による防災・減災の話は大変興味深くきけた。